

生徒の「思い」が 学校と地域を変える

生徒運営の校内コンビニ
～地域とつくる「流通・サービス」実践～

千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 清水崇史



本校の教育課程（日課表）

「働く力」を身に付けるための高等部単独の学校

1 年

		月	火	水	木	金
8:35		登校				
8:35		SHR				
8:45		清掃				
1	9:05	専門教科	専門教科	職業	音楽	専門教科
2	10:00			理科	英語	
3	10:55			国語	情報	
4	11:50			家庭	数学	
12:35		昼休み				
5	12:35	総合/HR	専門教科	保健体育	社会	道徳
6	13:20	自立活動		美術	保健体育	特別活動
15:10		SHR				
15:35		部活動		部活動		部活動

2 年

		月	火	水	木	金
8:35		登校				
8:35		SHR				
8:45		清掃				
1	9:05	専門教科	専門教科	情報	専門教科	美術
2	10:00			数学		保健体育
3	10:55			音楽		理科
4	11:50			保健体育		職業
12:35		昼休み				
5	12:35	自立活動	専門教科	社会	専門教科	総合/HR
6	13:20	道徳		国語		特別活動
15:10		SHR				
15:35		部活動		部活動		部活動

3 年

		月	火	水	木	金
8:35		登校				
8:35		SHR				
8:45		清掃				
1	9:05	専門教科	保健体育	美術	専門教科	専門教科
2	10:00		音楽	職業		
3	10:55		情報	数学		
4	11:50		家庭	英語		
12:35		昼休み				
5	12:35	道徳	理科	国語	専門教科	自立活動
6	13:20	総合/HR	社会	保健体育		特別活動
15:10		SHR				
15:35		部活動		部活動		部活動

専門教科 9つのコース

農業 園芸 木工 窯業 ソーイング 染織 フード 流通 メンテナンス

きっかけ

「購買がほしい」という生徒の思い

学校のニーズ

- ⋮ ①購買が欲しいという生徒の思い
 - ⋮ ②主要な就職先である「小売・倉庫業」について学べる学習を構築
 - ⋮ ③生徒が作っている製品の定期販売（日々の学習のフィードバック強化）
- ▼

目指した変革

- ①生徒が主体となる学習
- ②流通・サービスの指導項目「商品管理」についての学習を確立
- ③生徒が作った製品を地域へ

校内コンビニ「SmileMart」の誕生



近隣コンビニエンスストアと連携し、
実社会に即した「小売業」のサイクルを
生徒自ら回す



活動紹介VTR



校内コンビニの立ち上げ ①校外資源との連携

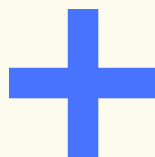
協力（商品の仕入れ先）

ファミリーマート市川大野町四丁目店

- ・商品の仕入れ先
- ・ビジネスマナー講習会（接客） 年1回



本校が実施している「デュアル実習」の
パートナーシップ企業



支援（活動経費・学習デザイン）

TOKKA



- ①活動経費支援
- ②社会人メンターとのコミュニケーション支援



千葉大学アントレプレナーシップセンターが
主催する高校生の起業体験プログラム

NAME

みんなのコンビニ
SmileMart

CONCEPT

コンビニに関わる人みんなが笑顔になる場所

- ・ 利用するお客様（生徒、先生、地域の方）
- ・ 運営する流通コースの人たち
- ・ 協力していただいているファミリーマート市川大野町四丁目店の方々
- ・ 学校生産物を提供する各コースの人たち

校内コンビニの立ち上げ ②校内コンビニの準備

店舗作り



自動販売機前スペース



冷蔵ショーケース



レジテーブル



看板



商品陳列棚

取り扱い商品選定 (マーケティング)



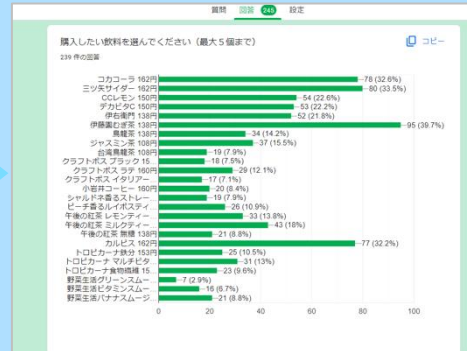
商品調査



アンケート商品選定



アンケート作成



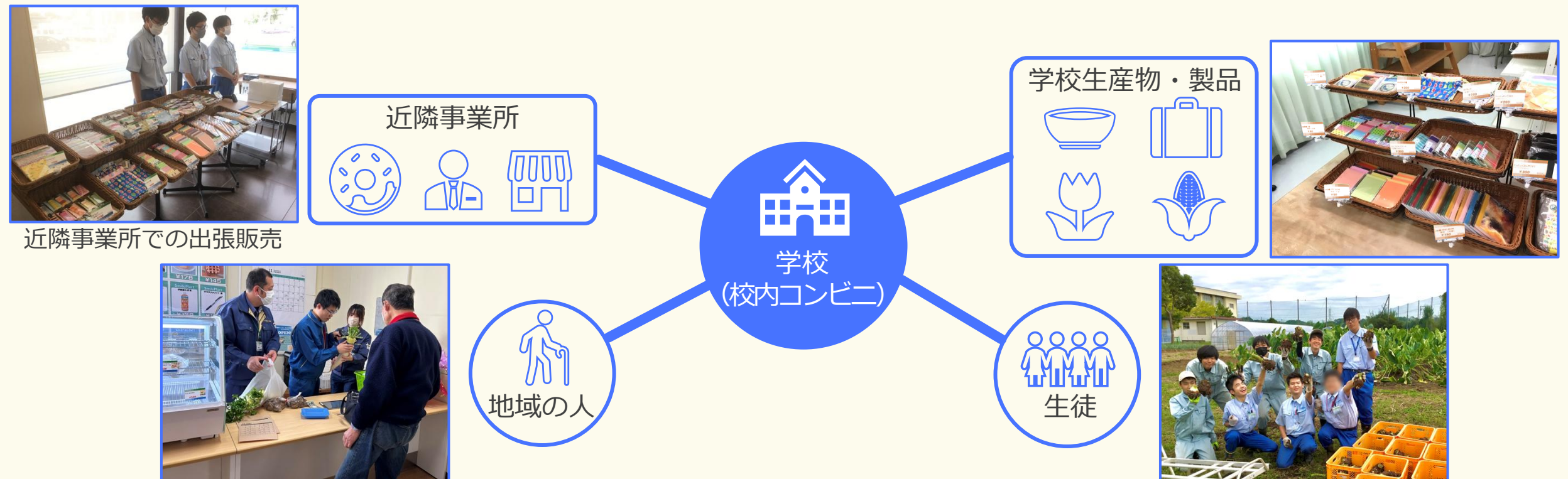
アンケート集計



商品の選定

校内コンビニが生み出した価値

“人”と“モノ”をつなぐ場所

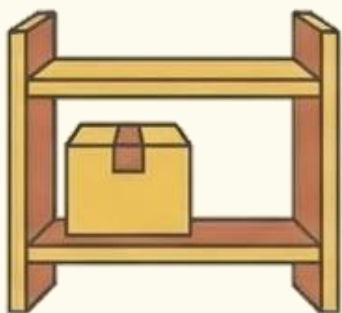


- ・ 近隣事業所の製品、学校生産物・製品が購入できる場所
- ・ 生徒同士、生徒と地域社会などが交差する「交流の拠点」

教育現場への波及性・再現性

どの学校でも導入可能なモデル

特別支援学校普通科や小規模校でも段階的に導入可能な汎用性の高い実践パッケージ



①小規模な商品数



②既存事業所との連携

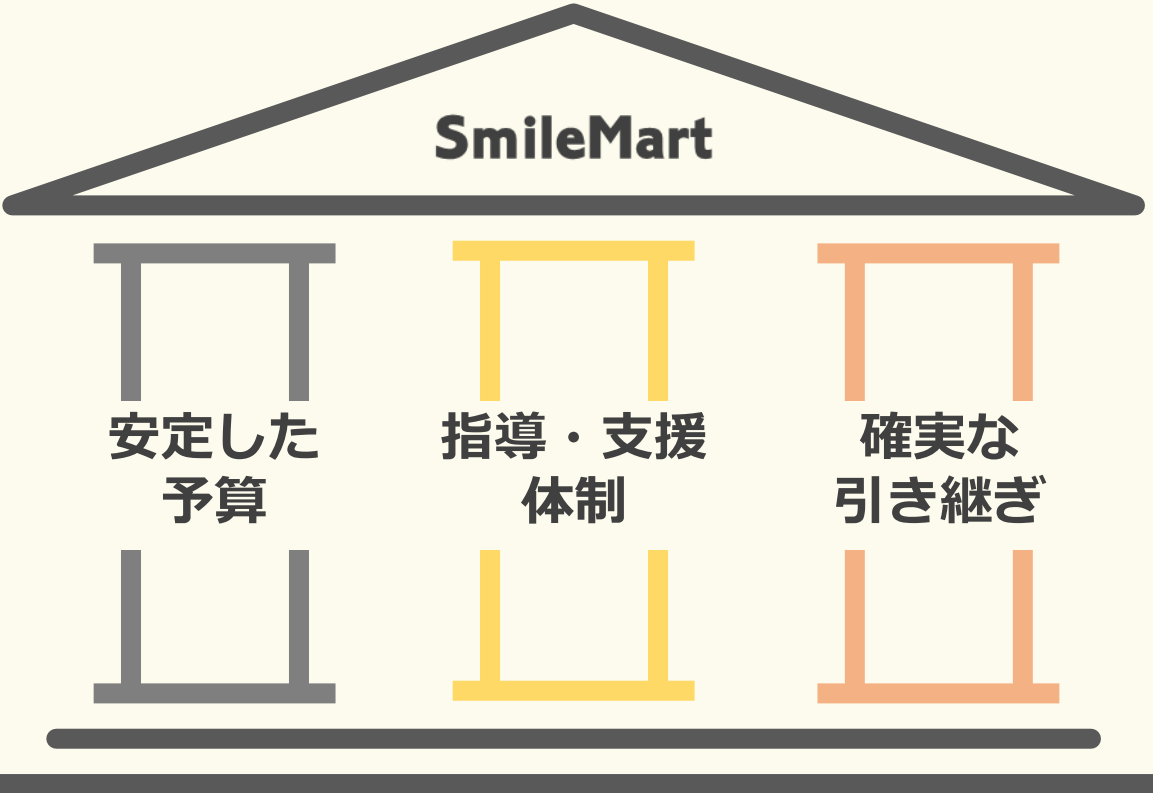


③簡易レジアプリの導入

持続可能性

持続可能な運営を支える「仕組み」と「体制」

学校組織として継続性を担保するための基盤構築



SmileMart

安定した
予算

指導・支援
体制

確実な
引き継ぎ

資金：PTA会費から仕入れ資金を
捻出する予算措置の確立

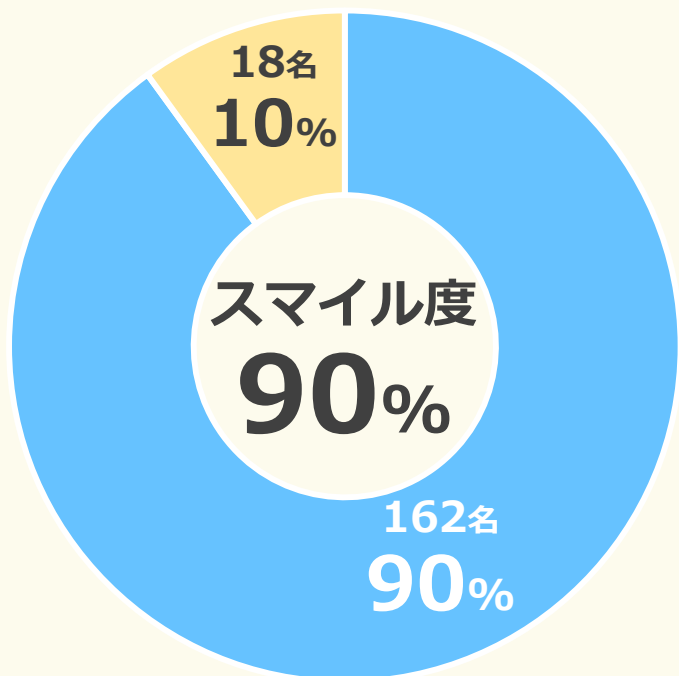
体制：教職員 5～6 名体制のチーム
ティーチングと生徒向け手順書の整備

継承：人事異動を見据えた契約書類の整理
システムの更新マニュアルの作成

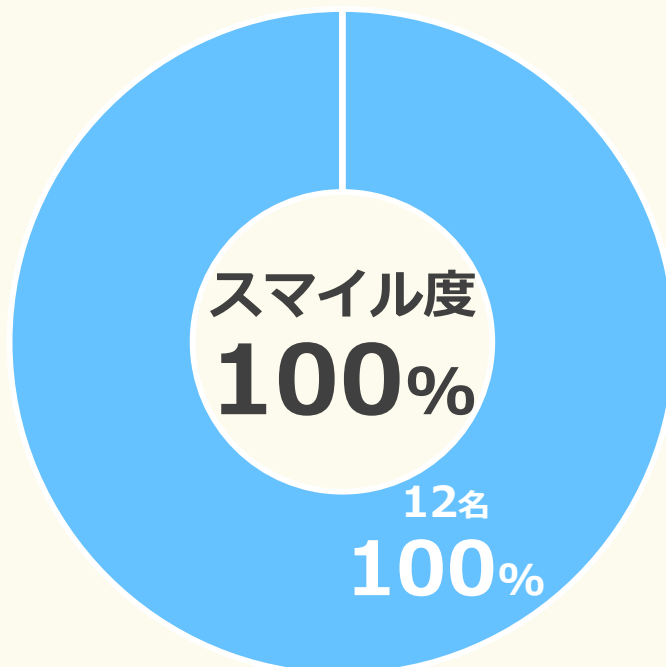
スマイルアンケート

笑顔になったかどうかの調査

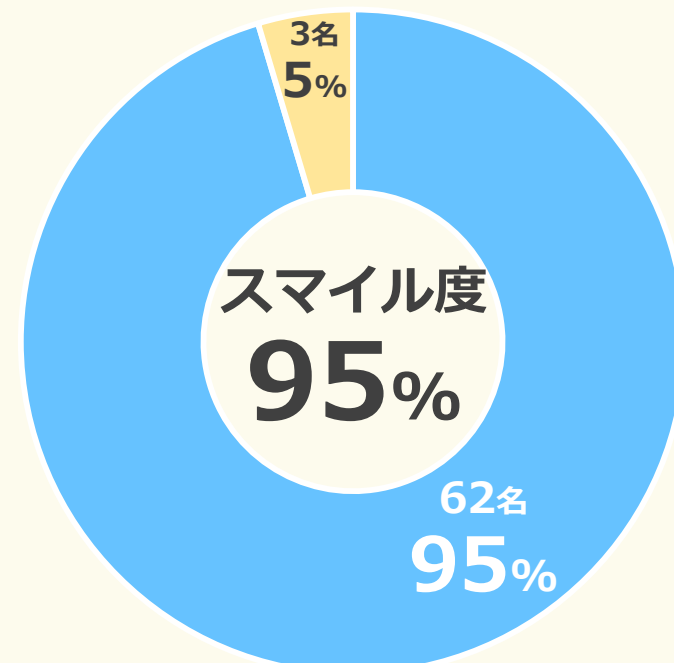
■ 笑顔になった ■ ならなかった



お客様(生徒・教職員)



店員(生徒)



生産者(各コース生徒)



「自分は社会に必要とされている」 という強烈な自己有用感

この実感こそが、次の挑戦への原動力となる。





**生徒たちが
「社会を創る一員」として輝く未来へ**